

各 位

上場会社名 株式会社 カワタ
 代表者 取締役社長 湯川 直人
 (コード番号 6292)
 問合せ先責任者 常務取締役執行役員管理部門統括 尾崎 彰
 (TEL 06-6531-8211)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年10月30日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	14,800	720	680	310
今回発表予想(B)	13,200	300	250	20
増減額(B-A)	△1,600	△420	△430	△290
増減率(%)	△10.8	△58.3	△63.2	△93.5
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	15,600	1,176	1,172	631

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	9,100	150	315	185
今回発表予想(B)	7,900	△165	0	△50
増減額(B-A)	△1,200	△315	△315	△235
増減率(%)	△13.2	—	—	—
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	9,698	444	530	315

修正の理由

米国のサブプライムローン問題に端を発した金融危機は、各国の実体経済の悪化へと局面を移し、米国、欧州、新興国等で消費や設備投資が急速に減少し、世界同時不況の様相が強まり、わが国経済におきましても、輸出や生産が減少し、自動車、電機等、様々な業界の業況判断が急速に悪化しております。

個別業績につきましては、上記の経済環境の急変により、プラスチック成形加工業界において設備投資の中止、延期、縮小の動きが急速に広がり、第4四半期についても当社が前回予想時に想定していた以上に受注金額の確保も困難となったため、売上高は前回予想を1,200百万円下回る7,900百万円の見込みとなりました。損益面におきましても、売上高の減少に伴う売上総利益の減少に加えて、総需要の減少に伴う受注競争激化による販売価格の下落を原価低減努力では吸収しきれず、165百万円の営業損失見込み(前回予想は150百万円の営業利益)となり、同様の理由により経常利益は0百万円、当期純損失は50百万円となる見込みです。

連結業績におきましても、個別業績の未達成に加えて、従来比較的堅調であった設備のアフターメンテナンス・補修業務、東アジア地区での設備投資需要も、10月以降は急速に減速しており、売上高は前回予想を1,600百万円下回る13,200百万円の見込みとなりました。損益面におきましても、同様の理由により営業利益は前回予想を420百万円下回る300百万円となり、同様の理由により経常利益は250百万円、当期純利益は20百万円となる見込みです。

以 上